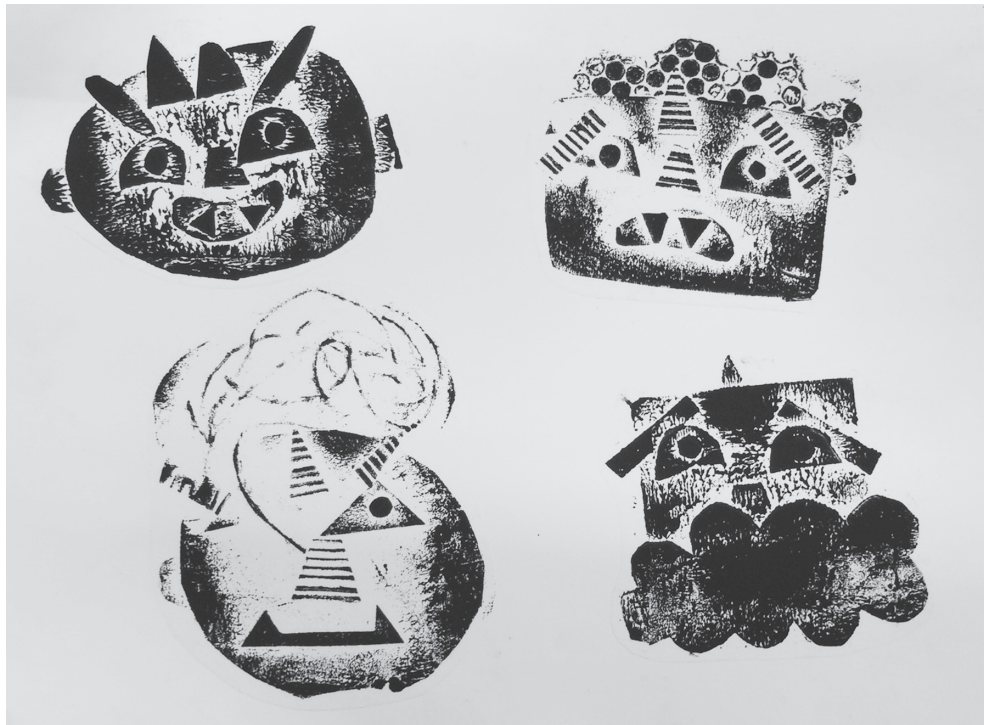




平成 29 年 度

学 校 要 覧



大分大学教育学部附属特別支援学校

〒870-0819 大分市王子新町1番1号

TEL 097-543-8317

FAX 097-545-4726



ふぞくの子ども

一、

ふぞくの子ども
わたしも あなたも なかよしこよし
がっこうへ いくのも かえるのも
いつも いっしよに

ラン ラン ラン ララ ラン

二、

ふぞくの子ども
わたしも あなたも なかよしこよし
べんきよう するの も あそぶのも
いつも いっしよに

ラン ラン ラン ララ ラン

三、

ふぞくの子ども
わたしも あなたも なかよしこよし
おしごと するの も やすむのも
いつも いっしよに

ラン ラン ラン ララ ラン



表紙の絵は、小学部児童作品

目 次

沿 革	1
I 学校経営	2
1. 本校の使命と任務	2
2. 学校教育目標	2
3. めざす子ども像	3
4. 学校経営の重点	3
5. 本年度の重点目標	3
6. 各学部の教育目標	4
7. 児童生徒数及び学級編成	5
8. 学 校 組 織 図	6
9. 職 員	8
II 教育課程の概要	9
1. 教育課程編成の基本方針	9
2. 教育課程の基本構造	9
3. 総授業時数及び基本日課表	10
4. 年間学校・学部主要行事	13
5. 学校安全計画	14
III 研究の概要	16
1. 本年度の研究	16
2. 研究発表の経緯	16
IV 進路指導	18
1. 進路指導の基本方針	18
2. 職場開拓について	18
3. 産業現場等における実習、職場体験の実施状況	18
4. 進 路 状 況	18
5. キャリア教育全体計画	19
V 教育実習の概要	20
1. 教育実習の意義	20
2. 教育実習の目的	20
3. 教育実習の種類と期間	20
4. 実習の主な内容	20
VI 教育相談及び入学案内	21
1. 教 育 相 談	21
2. 入 学 案 内	21
VII その他	22
1. 学 校 評 議 員	22
2. 歴代校長・副校長	22
3. P T A 役員名簿	23
4. P T A の 組 織	23

【沿革】

昭和24年.	4	大分大学学芸学部附属小学校に特殊学級開設（校内操作による）
昭和34年.	4	特殊学級 1 学級認可
昭和35年.	4	特殊学級 1 学級増設認可
昭和37年.	4	中学校特殊学級 2 学級認可
昭和38年.	4	中学校特殊学級 1 学級増設認可
昭和44年.	4	現在地に新校舎 4 棟完成、移転 小学部 3 学級、中学部 3 学級、計 6 学級となる
昭和48年.	4	養護学校設立認可「大分大学教育学部附属養護学校」となり、小学部 3 学級、中学部 3 学級で発足
昭和49年.	4	高等部設置
昭和50年.	4	本館、体育館、給食室の 3 棟完成
昭和51年.	4	小・中・高、各 3 学級、計 9 学級となる
昭和52年.	3	高等部第 1 回卒業生を送り出す プール完成
昭和52年.	10	温水プール完成（肢体訓練室内）
昭和53年.	3	宿泊棟、窯芸室完成
昭和54年.	3	中学部校舎増築、屋外肢体訓練施設完成
昭和58年.	10	全国教員養成大学・学部・附属教官合同研修会開催
昭和58年.	11	10周年記念式典実施
平成 5 年.	3	日常生活訓練棟完成、旧宿泊棟を木工室に改築
平成 5 年.	11	20周年記念式典実施
平成 6 年.	5	総合遊具場に木製冒険砦完成
平成 7 年.	3	小・中学部棟、作業棟を一部改築
平成 8 年.	3	肢体訓練室を改築
平成10年.	3	渡り廊下、屋根の改修
平成11年.	4	「大分大学教育福祉科学部附属養護学校」となる
平成12年.	5	九附連 P T A 大分大会、研究発表
平成13年.	3	本館エレベーター完成
平成14年.	3	本館、教官室、会議室、正門改築日常生活訓練棟への渡り廊下完成 防犯受信機の取付完成
平成15年.	5	3 0 周年記念式典実施
平成16年.	3	プール浄化装置改修
平成17年.	1	総合遊具場に冒険ランド完成
平成19年.	4	法令改正により「大分大学教育福祉科学部附属特別支援学校」となる
平成21年.	3	小学部棟改修
平成22年.	3	中学部棟改修
平成23年.	3	生活単元学習棟改修
平成25年.	3	屋外固定遊具増設
平成25年.	10	40周年記念式典実施
平成26年.	11	体育館改修
平成26年.	12	本館耐震工事完成
平成27年.	3	給食棟改修工事完成
平成28年.	4	学部改組に伴う校名変更により「大分大学教育学部附属特別支援学校」となる
平成29年.	3	旧ボイラー室周辺の改修に伴い、「なかよし広場」完成

I 学校経営

1. 本校の使命と任務

本校は、国立大学法人法に基づいて大分大学教育学部に設置された学校であり、次のような使命をもつ。

- (1) 知的に障がいのある児童生徒を対象に教育を行い、個々の能力を伸ばし、自立への意欲を育て、社会生活への適応性を高める。
- (2) 大学教員や学生の教育研究に協力するとともに、教育実習生の指導にあたる。
- (3) 特別支援教育について、理論的、実証的教育研究を推進するとともに、地域の障がいのある幼児児童生徒やその保護者及び幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校への支援の充実に努める。

2. 学校教育目標

個人の尊厳を重んじ、児童生徒一人一人の心身の発達に応じて、小学部、中学部並びに高等部の各課程を通して、調和のある一貫した教育を行い、自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、身近生活の確立をはじめ、集団生活、社会生活、職業生活への適応性を高め、自立的、主体的な生活ができる人間の育成をめざす。

○健康な心身の育成

- ・落ち着いてやさしく、明るく健康で、ものごとに意欲的に取り組む子どもに育てる。
- ・身近な自然に親しみ、物や人を大切に作る心豊かな子どもに育てる。

○身近生活の確立

- ・身のまわりのことがらを自分の力で進んでする子どもに育てる。

○集団生活への適応能力の育成

- ・友達と仲よくし、集団の中で自分の役割を知り、力を合わせて活動する子どもに育てる。

○社会生活に必要な基礎能力の伸長

- ・自分の力を伸ばし、生活をよりよくする子どもに育てる。

○職業生活への適応能力の育成

- ・働くことに喜びをもち、仕事を最後までがんばる子どもに育てる。

3. めざす子ども像

- ・明るく 元気なやさしい子ども
- ・自分のことは 自分でする子ども
- ・人と交わり 仲よくする子ども
- ・力いっぱい 最後までがんばる子ども

4. 学校経営の重点

(1) 「実践」のある学校

児童生徒の能力を最大限に伸ばすため、研究に基づく教育理論を背景にして、生き生きとした教育実践を行う。

(2) 「和」のある学校

コミュニケーションを大切にし、情報を共有しながら積極的に教育活動に取り組む。

(3) 「貢献」のある学校

プロフェッショナル意識を持って自己を高めるとともに、地域の特別支援教育の充実・発展に努める。

(4) 「美」のある学校

児童生徒とともに教育環境の整備整理に取り組み、美しい学校作りに努める。

(5) 「連携」のある学校

保護者、地域社会、関係機関と共に、チームとなって子どもを育てる。

(6) 「改革」のある学校

児童生徒に生きる力をつけるために、常に改善を図り、新しいことにも躊躇なく取り組む。

5. 本年度の重点目標

(1) 一人一人の障がいの状態に配慮し、家庭との連携に基づく、安全・衛生・危機管理の取り組みの充実を徹底する。

(2) 特別支援教育の専門性の向上と充実をめざし、研究・研修に取り組むとともに、どの子ども活動参加への意欲を高める授業づくりを行う。

- (3) 学校の課題解決・目標達成のために、地域・関係機関・大学と共同・協働するとともに、センター的機能を発揮した地域貢献・情報発信を行う。

6. 各学部の教育目標

〈小 学 部〉

- ア 自分の身のまわりのことを自分でする子ども
- イ いろいろな遊びや行事に喜んで参加し、元気に活動する子ども
- ウ 日常生活に必要なことばやかずなどの基礎的な知識や技能を身につける子ども
- エ 手伝いや身のまわりの仕事などを進んでする子ども

〈中 学 部〉

- ア 身のまわりのいろいろなことを、きちんと自分からする生徒
- イ 集団の中に進んで参加し、自分の役割に応じて活動する生徒
- ウ 社会生活に必要な基礎的な知識や技能を身につけ、生活に生かす生徒
- エ 仕事の大切さや楽しさを知り、進んで働く生徒

〈高 等 部〉

- ア 自分の生活にかかわることに、時や場などに応じて進んで取り組む生徒
- イ 集団の中で自分や友達の役割を知って、力を合わせて活動する生徒
- ウ 社会生活に必要な能力を高め、生活を豊かにする生徒
- エ 働くことに喜びをもち、仕事を最後までやりぬく生徒

7. 児童生徒数及び学級編成

(1) 学級・学年別児童生徒数

学部 学年 性別	小 学 部							中 学 部				高 等 部				計
	もも組		うめ組		さくら組		計	1 年	2 年	3 年	計	1 年	2 年	3 年	計	
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年										
男	2	2	2	3	1	1	11	4	5	1	10	4	4	6	14	35
女	1	1	1	0	2	2	7	2	1	3	6	3	1	2	6	19
計	3	3	3	3	3	3	18	6	6	4	16	7	5	8	20	54

(2) 通学方法別児童生徒数

学部 方法	徒 歩	バ ス	電 車	自家用車	自転車	計
小 学 部	2	3	0	13	0	18
中 学 部	6	2	0	8	0	16
高 等 部	2	6	2	10	0	20
計	10	11	2	31	0	54

(3) 郡市別児童生徒数

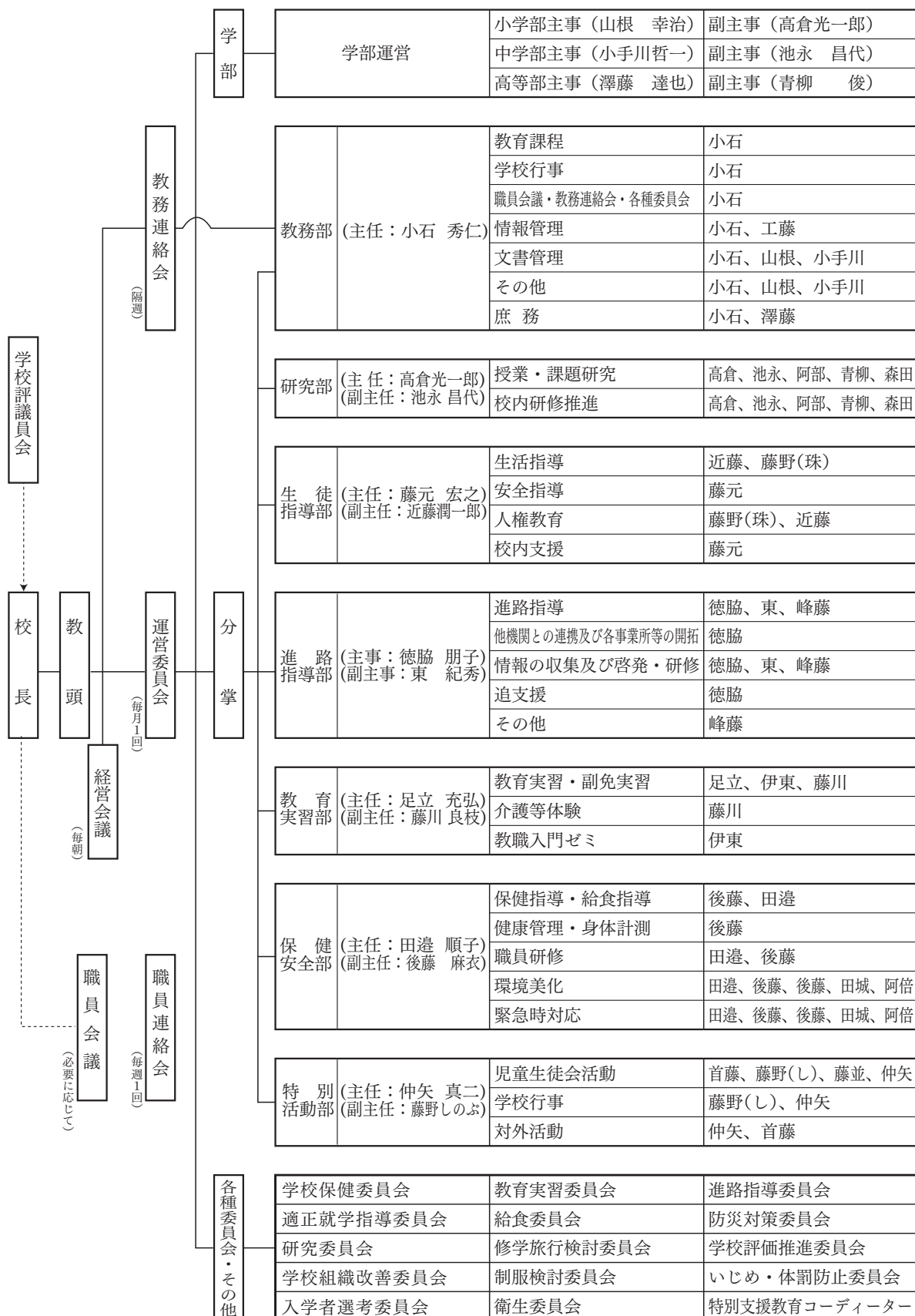
学部 郡市	大 分 市	別 府 市	杵 築 市	計
小 学 部	18	0	0	18
中 学 部	16	0	0	16
高 等 部	18	1	1	20
計	52	1	1	54

(4) 児童生徒の障がいの状態

学部 障がい	ダウン氏 症 候 群	自 閉 的 傾 向	脳性マヒ	知的障がい の み	そ の 他	計
小 学 部	3	9	0	1	5	18
中 学 部	1	8	0	3	4	16
高 等 部	2	6	0	7	5	20
計	6	23	0	11	14	54

8. 学校組織図

(1) 校務分掌組織



(2) 各種委員会

名 称	業 務 内 容		担 当	開催時期
学 校 保 健 委 員 会	学 校 保 健・安全の基本に関すること	保健指導の方針及び指導計画に関すること 児童生徒の安全確保に関すること等	○保健主事 教務主任 学部主事 養護教諭 (保護者代表)(学校医) (学校薬剤師) (保健安全部担当)	必要に応じて
教 育 実 習 委 員 会	教育実習等の基本に関すること	教育実習の企画に関すること 介護等体験の企画に関すること 教育実習の評価基準に関すること等	○教育実習主任 教務主任 学部主事 研究主任 (教育実習部員)	必要に応じて
進 路 指 導 委 員 会	進路指導の基本に関すること	進路指導の企画・運営に関すること 企業等における実習に関すること等	○進路指導主事 教務主任 学部主事 (進路指導部員)	5月11月 必要に応じて
適正就学指導委員会	就学指導の基本に関すること	児童生徒の転学・進学に関すること等	○教務主任 学部主事 研究主任 進路指導主事 養護教諭 (学校医)	必要に応じて
給食委員会	給食運営及び給食の基本に関すること	給食室、調理室の施設・設備に関すること 給食費に関すること等	○保健主事 教務主任 学部主事 栄養士 養護教諭 保護者代表 (保健安全部担当)	必要に応じて
防 災 対 策 委 員 会	防災対策の基本に関すること	防災体制の確立に関すること 年間防災計画の立案に関すること等	○保健主事 教務主任 学部主事 養護教諭 (保健安全部担当者)	必要に応じて
研究委員会	研究企画の基本にかかわること	研究テーマの設定に関すること 公開研究会の開催に関すること等	○研究主任 教務主任 学部主事 (研究部員)	4月8月1月 必要に応じて
修学旅行検討委員会	修学旅行の計画にかかわること	日時・行き先・引率者等計画に関すること 旅行社の選定に関すること等	○教頭 学部主事 教務主任 養護教諭	6月9月2月 必要に応じて
学校評価推進委員会	学校評価に関すること	学校評価の実施に関すること 学校評価の成果に関すること 評価結果の活用に関すること等	○教頭 教務主任 学部主事 研究主任 生徒指導主事 保健主事 進路指導主事 教育実習主任 特別活動主任	5月8月2月
学校組織改善委員会	学校組織の改善に関すること	学校運営組織の改善に関すること 校務分掌の改善に関すること 主任制度の改善に関すること等	○教頭 教務主任 学部主事 研究主任 生徒指導主事 保健主事 進路指導主事 教育実習主任 特別活動主任	2月3月 必要に応じて
制 服 検 討 委 員 会	制服等の基本に関すること	児童・生徒の制服や服装の基準に関すること 通学時の持ち物の基準に関すること等	○生徒指導主事 教務主任 学部主事 保護者代表	必要に応じて
いじめ・体罰防止委員会	いじめ・体罰の防止に関すること	いじめ体罰の未然防止に関すること 重大事案の対応に関すること等	○生徒指導主事 教務主任 学部主事 養護教諭 スクールカウンセラー 生徒指導部 (担任)	必要に応じて

〔注〕 校長、教頭はすべての委員会に出席するものとし、教頭、教務主任が司会進行を行う。
開催時期が明示されていないものについては、必要に応じて開催する。また、明示しているものについても緊急を要する場合は開催することがある。
この他、行事の企画・運営に関して必要があれば特設委員会を設けることとする。

9. 職 員

(1) 職員数

区 分	校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	臨 時 講 師	非 常 勤 講 師	事 務 職 員	用 務 員	栄 養 職 員	給 食 調 理 員	非 常 勤 職 員	計	学 校 医 等				
													内 科	耳 鼻 科	眼 科	歯 科	薬 劑 師
現 員	男	1	1	14		1	3				1	22		1	1	1	
	女			11	1		3	1	1	3		20	1				1
	計	1	1	25	1	1	6	1	1	3	1	42	1	1	1	1	1

(2) 職員名簿

番号	職名	氏 名	学部	担当学年等	分 掌 等
1	校長	児玉 修一			
2	教頭	小西 利治			
3	教諭	小手川哲一	中学部	主事	教務、教育相談
4	教諭	仲矢 真二	高等部		特別活動主任
5	教諭	近藤潤一郎	高等部	2年	生徒指導
6	教諭	小石 秀仁	中学部		教務主任
7	教諭	藤元 宏之	中学部	3年	生徒指導主任
8	教諭	藤野しのぶ	中学部	3年	特別活動
9	教諭	藤川 良枝	高等部	3年	教育実習
10	教諭	青柳 俊	高等部	3年	研究
11	教諭	森田 理恵	高等部	1年	研究
12	教諭	澤藤 達也	高等部	主事	教務、教育相談
13	教諭	山根 幸治	小学部	主事	教務、教育相談
14	教諭	池永 昌代	中学部	1年	研究
15	教諭	藤並 寛子	小学部	1・2年もも組	特別活動
16	教諭	伊東 晃一	小学部	5・6年さくら組	教育実習
17	教諭	田城ひろみ	中学部	2年	保健安全
18	教諭	徳脇 朋子	高等部		進路指導主事
19	教諭	阿部よしみ	小学部	3・4年うめ組	研究
20	教諭	高倉光一郎	小学部		研究主任
21	教諭	阿南 蘭			育児休業中
22	教諭	足立 充弘	中学部	2年	教育実習主任
23	教諭	峰藤 暁志	小学部	3・4年うめ組	進路指導
24	教諭	阿倍 智樹	高等部	1年	保健安全
25	教諭	首藤 和秀	高等部	2年	特別活動
26	教諭	田邊 順子	小学部	5・6年さくら組	保健主事
27	教諭	藤野 珠紀	小学部	1・2年もも組	生徒指導
28	養護教諭	後藤 麻衣			保健安全
29	臨時講師	東 紀秀	中学部	1年	進路指導
30	非常勤講師	田中 裕司	高等部		教育相談
31	非常勤講師	前田 浩彦	中学部		
32	非常勤講師	西海あずさ	小学部		
33	非常勤講師	西 将史	高等部		
34	非常勤講師	櫻井 那奈	小学部		
35	非常勤職員	三重野 綾	小学部		
36	非常勤職員	工藤 雅康			情報
37	学校栄養士	丸山 好美			
38	事務職員	利光 敏江			
39	用務員	古沢 政浩			
40	給食調理員	高木 桂子			
41	給食調理員	安長美千代			
42	給食調理員	三好 知美			

(3) 学校医等

番号	職名	氏 名	担 当	番号	職名	氏 名	担 当
1	学校医	畑 万里子	内科	4	学校医	大谷 俊輔	歯科
2	学校医	宮本 和雄	耳鼻科	5	学校薬剤師	伊藤 裕子	薬剤師
3	学校医	野田 和宏	眼科				

Ⅱ 教育課程

1. 教育課程編成の基本方針

- (1) 本校教育目標の具現化を図るように編成する。
- (2) 児童生徒の障がいの状態や能力・適性に対応できるように編成する。
- (3) 小学部、中学部及び高等部の教育の一貫性を図るように編成する。
- (4) 学校教育研究の成果をふまえて編成する。
- (5) 保護者及び関係機関との連携のもとに編成する。

2. 教育課程の基本構造



3. 総授業時数及び基本日課表

<小学部>

○年間総授業時数

指導の形態	領域・教科を合わせた指導			教科別・領域別の指導							合計
	の日常生活指導	遊びの指導	学生生活単元	国語	算数	音楽	図画工作	体育	道徳	自立活動	
1年	217.6	142.8	68	85	85	51	51	91.8	34	95.2	921.4
2年	224	147	70	87.5	87.5	52.5	52.5	94.5	35	98	948.5
3年	224	147	140	87.5	87.5	52.5	52.5	94.5	35	98	1018.5
4年	224	147	140	87.5	87.5	52.5	52.5	94.5	35	98	1018.5
5年	224	147	140	87.5	87.5	52.5	52.5	94.5	35	98	1018.5
6年	224	147	140	87.5	87.5	52.5	52.5	94.5	35	98	1018.5

※1単位時間は、45分で算出している。

※日常生活の指導は、朝の支度、朝の会を25分、帰りの支度、帰りの会を25分、清掃を20分で算出している。

○基本日課表

時刻	曜日	月	火	水	木	金
8:30		登校				
40		日常生活の指導 [朝の支度・朝の会]				
50		〈学級別の指導〉				
9:00						
10		自立活動	遊びの指導			
20		〈個別の指導〉	〈学部合同の指導〉			
30						
40		日常生活の指導	自立活動			
50		[清掃] 〈学級別の指導〉	〈個別の指導〉			
10:00						
10		国語・算数				
20		〈グループ別の指導〉				
30						
40						
50						
11:00						
10		道徳	遊びの指導	体育	生活単元学習	
20		〈学級別の指導〉	〈学級別の指導〉	〈学部合同の指導〉	〈学級・グループ別〉	
30						
40						
50						
12:00		なかよし集会	体育			日常生活の指導
10		生活集会	〈学部合同の指導〉			[清掃] 〈学級別の指導〉
13:00		日常生活の指導 [給食・歯磨き]				
10		〈学級別の指導〉				
20						
30		音楽	日常生活の指導	図画工作	音楽	
40		〈学部合同〉	〈学級別の指導〉	〈学級別の指導〉	〈学部合同〉	
50				生活単元学習	生活単元学習	
14:00				〈学級・グループ別〉	〈学級・グループ別〉	
10		日生指導	日常生活の指導			日生指導
20		[帰りの支度]	[帰りの支度]			[帰りの支度]
30		〈学級別〉	〈学級別の指導〉			〈学級別〉
40		生活単元学習	生活単元学習			生活単元学習
50		〈学級別〉	生活単元学習			〈学級別〉
15:00						
10		日生指導	生活単元学習			日生指導
20		[帰りの支度]	生活単元学習			[帰りの支度]
30		〈学級別〉	生活単元学習			〈学級別〉
40						
50						
下校時刻		1～2年 14:45	3～6年 15:30	13:30	14:45	14:45
		14:45	15:30			14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45
						14:45

< 中学部 >

○年間総授業時数

学 年	領域・教科を合わせた指導			教科別・領域別の指導								総合的な学習	合 計
	の 日 常 生 活 指 導	学 生 生 活 単 元 学 習	作 業 学 習	国 語	数 学	音 楽	美 術	保 健 体 育	職 業 家 庭	道 徳	自 立 活 動		
1 年	210	164.5	133	70	70	45.5	45.5	98	45.5	35	70	35	1022
2 年	210	164.5	133	70	70	45.5	45.5	98	45.5	35	70	35	1022
3 年	210	164.5	133	70	70	45.5	45.5	98	45.5	35	70	35	1022

※1 単位時間は、50分で算出している。

※日常生活の指導は、朝の支度・係仕事、朝の会を30分、帰りの支度・帰りの会を20分、清掃を25分で算出している。

○基本日課表

曜日		月	火	水	木	金
時刻						
8:30						
40		日 常 生 活 の 指 導 (朝の支度・係・朝の会)〈学 年 別 の 指 導〉				
50						
9:00		日常生活指導 (清掃)〈学年別〉	体 育 (サーキット)〈学部合同の指導〉			日常生活の指導 (清掃)〈学年別〉
10						
20						
30						
40						
50		国 語 〈グループ別の指導〉	数 学 〈グループ別の指導〉	国 語 〈グループ別の指導〉	数 学 〈グループ別の指導〉	総合的な学習の時間 〈学年別の指導〉
10:00						
10						
20						
30						
40						
50		職業・家庭 〈学年別の指導〉	保健・体育 〈学年別の指導〉	美 術 〈学年別の指導〉	音 楽 〈学部合同の指導〉	道 徳 〈学年別の指導〉
11:00						
10						
20						
30						
40						
50		なかよし集会	自 立 活 動			
12:00		生活集会	〈個別の指導〉			
10						
13:00		給 食 ・ 休 憩				
10		作業学習 〈学年別の指導〉	日常生活の指導 (帰りの支度・帰りの会・係) 〈学年別の指導〉	生活単元学習 〈学部合同の指導〉	作業学習 〈学部合同の指導〉	生活単元学習 〈グループ別の指導〉
20						
30						
40				日常生活の指導 (帰りの支度・帰りの会・係) 〈学年別の指導〉		
50				日常生活の指導 (帰りの支度・帰りの会・係) 〈学年別の指導〉		
14:00		日常生活の指導 (帰りの支度・帰りの会・係) 〈学年別の指導〉		日常生活の指導 (帰りの支度・帰りの会・係) 〈学年別の指導〉	日常生活の指導 (帰りの支度・帰りの会・係) 〈学年別の指導〉	日常生活の指導 (帰りの支度・帰りの会・係) 〈学年別の指導〉
10						
20						
30						
40						
50		日常生活の指導 (帰りの支度・帰りの会・係) 〈学年別の指導〉		日常生活の指導 (帰りの支度・帰りの会・係) 〈学年別の指導〉	日常生活の指導 (帰りの支度・帰りの会・係) 〈学年別の指導〉	日常生活の指導 (帰りの支度・帰りの会・係) 〈学年別の指導〉
15:00						
10						
20						
30						
下校時刻		15:30	13:30	15:30	15:00	15:30

< 高等部 >

○年間総授業時数

	領域・教科を合わせた指導						領域別・教科別の指導										時 間	総合的な学習 の 計	合 計
	日常生活の指導	生活単元学習	作 業 学 習				国語	数 学	音 楽	美 術	保健体育	家 庭	情 報	自立活動	道 徳				
			ものづくり	農耕園芸	産業作業	サービス										校内・校外作業等			
A	196	147		70	175	35									175		80.5	1078	
B	196	91	91	35	112	42	35	35	42	35	87.5	56		105	35				
C	196	91		35	182	42	35	35				56	70	35		101.5			
			259																

※1単位時間は、50分で算出している。

※日常生活の指導は、朝の支度・朝の会・帰りの支度を20分、帰りの支度・帰りの会・係の仕事を20分、清掃を30分で算出している。

○基本日課表

時刻	曜日	月	火	水	木	金
8:30						
40		日 常 生 活 の 指 導（朝の会・着替え）〈学年別の指導〉				
50		100分				
9:00						
10		保 健 体 育（体づくり・スポーツ）〈学部・グループ別の指導〉				
20		125分				
30						
40						
50		国 語 / 数 学 / 自 立 活 動 / 情 報 〈グループ別の指導〉				
10:00		250分				
10						
20						
30						
40						
50						
11:00		生活単元学習 〈学部・学年別の指導〉	作 業 学 習 〈学部・グループ別の指導〉			
10		70分				
20						
30						
40						
50		なかよし集会	総合的な学習の時間 〈グループ別〉 30分			
12:00		生活集会	400分			
10						
13:00		日常生活の指導（給食指導）〈学年別の指導〉				
10						
20		日常生活の指導 （帰りの支度） 30分				
30		美 術 〈グループ別の指導〉	特別の教科 道 徳			日 生（清掃） 30分
40		50分	50分			
50						
14:00				総合的な学習の時間 〈学部・学年別の指導〉		家 庭 / 生活単元学習 〈グループ別の指導〉
10		生活単元学習 〈グループ別の指導〉	音 楽 〈学部合同の指導〉	60分		115分
20		60分	60分	80分		
30						
40						
50						
15:00		日常生活の指導 （帰りの支度） 30分	日常生活の指導 （帰りの支度） 30分	日常生活の指導 （帰りの支度） 30分	日常生活の指導 （帰りの支度） 30分	日常生活の指導 （帰りの支度） 30分
10						
20						
30						
下校時刻		15:30	13:30	15:30	15:30	15:30

4. 年間学校・学部主要行事

月	学 校	小 学 部	中 学 部	高 等 部
4	・ 始業式 ・ 入学式 ・ 火災避難訓練 ・ お迎え遠足 ・ P T A 総会	・ 新入生お迎え会	・ 新入生お迎え会	・ 新入生お迎え会
5	・ 附属四校園子ども集会 ・ 副免教育実習A ・ 運動会			
6	・ 歯磨き指導 ・ 学校公開 ・ プール開き	・ 校内宿泊学習 (1泊2日)	・ 校内宿泊学習 (1泊2日) ・ 職場見学(中3) ・ 附属中学校との交流	・ 現場実習(2週間)
7	・ 教育実習A事前指導 ・ 教育講演会 ・ 期末P T A ・ 終業式 ・ 校外宿泊 (2泊3日)	・ 七夕お楽しみ会	・ 附属中学校との交流 ・ 職場体験(3年生)	・ 校内宿泊学習 (1泊2日) ・ 大分西高校との交流
9	・ 始業式 ・ 教育実習A ・ 防災避難訓練 ・ 家族参観日		・ 附属中学校との交流 ・ 職場見学(1.2年生)	・ 校内宿泊学習 (1.3年生:1泊2日)
10		・ いもほり大会 ・ 校内宿泊学習 (1泊2日) ・ 秋の遠足	・ 附属中学校との交流 ・ 校内宿泊学習 (1泊2日) ・ 社会見学 ・ 修学旅行 (3年生:2泊3日 -大阪方面)	・ 修学旅行 (2年生:3泊4日 -東京方面) ・ 校外学習(1.3年生) ・ 現場実習(2週間)
11	・ 学習発表会 ・ 副免教育実習B			
12	・ もちつき大会 ・ 学期末P T A ・ 終業式	・ クリスマス会	・ 附属中学校との交流	・ 大分西高校との交流
1	・ 始業式 ・ 火災避難訓練 ・ 入学審査		・ 附属中学校との交流 ・ 校内実習(1週間)	・ 卒業生との交流会
2	・ 入学者説明会 ・ 年度末P T A	・ 豆まき大会	・ 附属中学校との交流 ・ 駅伝大会 ・ 校外学習(3年)	・ 持久走大会 ・ 3年生お別れ宿泊 ・ 大分西高校との交流
3	・ 卒業式 ・ 修了式、終業式	・ 卒業生を送る会	・ 卒業生を送る会 ・ 校外学習(1.2年)	・ 卒業生を送る会

5. 学校安全計画

項目			月	4	5	6	7・8	9	
月の重点				通学路の安全を確認しよう	運動会を安全に成功させよう	プールでの事故に気を付けよう	夏休みを安全に過ごそう	交通安全について確認しよう	
安全 教育 指導 管理	全学 習	教科	保健体育	体育館や運動場施設等の安全	運動会練習や当日の安全	プールにおける安全			
			美術	・ハサミやカッターナイフ、へらなどの図工用道具の安全な使い方					
			家庭	・ガスコンロ、電子レンジ、ポット、ミシン、アイロンなど家電の安全な使い方					
		作業学習	紙工芸	・はさみやカッターなどの安全な使い方 ・接着剤の使い方と管理 ・道具や					
			事務	・印刷機やシュレッダーなどの事務用機器や、ハサミやステープラー、ステープラー					
			メンテナンス	・ほうきやモップなど清掃道具の安全な使い方 ・洗剤などの安全な使い方					
			喫茶	・ポットやコーヒーメーカーなどの調理器具の安全な使い方 ・トレイやグラスの運び方や					
		農耕園芸	・鍬やかな、移植ごてなどの道具、一輪車などの運搬道具の安全な使い方						
		自立活動		・健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、					
	総合的な活動		・学校における安全教育活動との連携を基に計画し、生徒の自発的な計画に基						
	安全 指導	生活安全	情緒の安定、日常生活における安全	集団行動の約束、友達との接し方	一人では行っていない場所、人通りの少ない場所確認	夏休みの過ごし方	登下校や交通機関の安全な利用方法		
		交通安全	登下校の安全、安全な歩行	交通安全指導	雨の日の交通安全（傘のさし方）	交通機関の利用方法	横断歩道の渡り方、自転車の乗り方（該当する生徒に指導を行う）		
		災害安全	避難訓練（火災）消火訓練・通報訓練	防災学習【火災・大雨（雷）・水難事故・台風・119番の仕組みや助けを呼ぶ方法・家族防災会議 など】			避難訓練（地震、津波）引きとり訓練		
		学級活動	各学期の避難訓練や安全指導に対して学級活動を活用して、事前学習や事後学習を行い生						
		学校行事等	お迎え遠足	運動会	プール開き 現場実習	校内宿泊 九重宿泊	校内宿泊		
安全 管理	対人管理	心肺蘇生法とAED・通学路の確認・避難訓練（自衛消防組織・職員の動きや生徒把握・避難経路の確認）・引きとり体制の確認・緊急時連絡体制の確認・生徒の既往症やアレルギーなどの確認・与薬依頼等保健書類の手続きの確認			夏季休業中の安全		避難訓練（自衛消防組織・職員の動きや生徒把握・避難経路の確認）・引きとり訓練		
		健康観察			水泳指導健康管理・健康観察				
	対物管理	防災計画届出・通学路確認・安全対策マニュアル・放送設備の点検	飲料水点検			ダニ、アレルゲン検査・ランチルーム、調理室衛生害虫等防除作業	放送設備点検		
					プール設備点検・水質検査・冷房器具点検				
学校安全に関する組織活動（研修含む）				各教室、特別教室等の防火管理担当者による毎日の消防設備点検と避難経路の確認（閉鎖）					
				・学校安全(保健)委員会の開催（年3回） ・PTA、地域との連携 ・登下校指導					
				普通救命講習会 家族防災会議	四校園分掌部会			救急法講習（PTA）	引きとり訓練 家族防災会議
				・保健安全部分掌部会(月1回、随時) ・全職員による安全点検日(月1回)					

10	11	12	1	2	3
事故の防止について確認しよう	学習発表会を安全に成功させよう	冬休みを安全に過ごそう	暖房時の安全を確認しよう	事故の防止について確認しよう	春休みを安全に過ごそう
スポーツ（アキュラシー・ボッチャ・風船バレー・フットサル・バドミントン・グラウンドゴルフ）指導における安全			マラソン大会における安全		学部別に同様の計画を作成している。 安全学習は、高等部の計画を掲載している。
・包丁、ピラー、針やハサミなどの道具の安全な使い方			・洗剤などの安全な使い方		
材料の安全な配置と取扱い			・生徒の安全な動線を考えた環境整備		
抜きなどの道具の安全な使い方			・道具や材料の安全な配置と取扱い		
・周囲の状況や人の動きに合わせた安全な清掃の仕方と道具の移動			・生徒の安全な動線を考えた環境整備		
テーブルの置き方など安全な接客の仕方			・周囲の状況や人の動きに合わせた移動など安全な接客の仕方		
・肥料や除草剤の扱い方			・野菜や花を育てる上での安全な作業の仕方		
水分補給や休息の指導					
コミュニケーション					
づき安全に対する意識を高める					
「子ども 110 番の家」場所確認	四校園合同防犯訓練（不審者）	冬休みの過ごし方	携帯電話の使い方（該当する生徒に指導を行う）犯罪から身を守る	暖房器具の安全な使い方	春休みの過ごし方
交通安全指導（警察署）	交通機関の利用とマナー	自転車の基本法規（該当する生徒に指導を行う）	交差点の危険	寒い日の交通安全	交通安全指導
防災学習〔地震・津波・大雨（雷）・台風・避難時の生活や非常食体験 など〕			総合避難訓練（地震・火災） 消火訓練・通報訓練	防災学習〔非常時の助け合いや地域との連携、応急処置 など〕	
徒がより理解できるように繰り返し指導する					
修学旅行 現場実習	PTA バザー 学習発表会	もちつき大会		マラソン大会 お別れ宿泊	
	防犯訓練（自衛消防組織・職員の動きや生徒把握・避難経路の確認・四校園の連携と連絡体制の確認）	冬季休業中の安全	避難訓練（自衛消防組織・職員の動きや生徒把握・避難経路の確認）		春季休業中の安全
健康観察		インフルエンザ等感染症流行期の対応・健康観察			
飲料水点検	放送設備点検	ランチルーム、調理室衛生害虫等防除作業	放送設備点検・照度検査・教室空気検査(H27, 中学部)		ランチルーム、調理室衛生害虫等防除作業
暖 房 器 具 点 検					
障害チェック・避難障害チェック）、校内巡回指導、防寒具・非常食等災害時備蓄品の管理					
・四校園情報交換会					
			防災に関する研修		
・ヒヤリハット事例の報告をうけた改善					

Ⅲ 研究の概要

1. 本年度の研究

児童生徒が活動に意欲的に取り組むための授業づくり

2. 研究発表の経緯

昭和50年度	研究紀要第1集	課題意識の持続をはかる条件の探求
昭和51年度	研究紀要第2集	課題設定の条件を探る
昭和52年度	研究紀要第3集	いきいきと活動させる条件を探る
昭和53年度	研究紀要第4集	一人ひとりに即したねらい・内容・方法を探る
昭和54年度	研究紀要第5集	一人ひとりに即した目標・内容・方法を探る
昭和55年度	出版	「一人ひとりを生かす授業の構想」(教育出版)
昭和56年度	研究紀要第6集	一人ひとりに即した目標・内容・方法を探る
昭和57年度		研究協議会で、国語、算数・数学、あそびの指導について発表する
昭和58年度		全国教員養成大学・学部・附属教官合同研修会、研究協議会で、国語、算数・数学、あそびの指導について発表する
昭和59年度	研究紀要第7集	実態をどのようにとらえて題材の目標・内容・方法へと結べばよいか
昭和60年度		研究協議会で、日常生活の指導、表現活動の指導、進路指導について発表する
昭和61年度	研究紀要第8集	題材の目標・内容・方法を設定する手順と条件を探る
昭和62年度		九州地区特殊教育研究会大分大会で、遊びの指導、国語の実践事例を発表する
昭和63年度	研究紀要第9集	生きる力を身につけた子ども像や指導内容はどのような手順や条件で設定すればよいか
平成元年度	実践事例集	生きる力を身につけた子ども像をどのように設定し、授業を組織すればよいか
平成2年度	研究紀要第10集	単元・題材の目標から各時の働きかけを設定するまでの手順や条件を探る
平成3年度		遊びの指導、生活単元学習、作業学習の授業研究会を行う
平成4年度		遊びの指導、生活単元学習、作業学習の授業研究会を行う
平成5年度	出版	「生きる力を育てる授業」(明治図書)
平成6年度		九州地区特殊教育研究会大分大会で、日常生活の指導生活単元学習、作業学習の実践事例を発表する
平成7年度		知的障害のみ、ダウン症、自閉的傾向をもつ子どもの実践事例を発表する
平成8年度	研究紀要第11集 実践事例集	主体的に活動するためには、どのように学習を展開し展開にそって、学習の場や教師の働きかけをどのように設定すれば良いか
平成9年度	出版	「主体的に活動する子どもを育てる支援の工夫」(明治図書)
平成10年度	実践事例集	重度・軽度の子どもの「主体的に活動するための支援の工夫」を事例としてまとめ発表する

平成11年度		遊びの指導、生活単元学習、作業学習の授業研究会及び数学、日常生活の指導、進路指導の課題別研究会を行う
平成12年度		研究協議会で、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習の授業をもとに、保護者との連携のあり方を発表する
平成13年度	研究紀要第12集	公開研究発表会で日常生活の指導、生活単元学習、作業学習の授業発表を行うとともに、保護者との連携の実際の事例発表をする
平成14年度		九州地区特別支援教育研究会大分大会で、遊びの指導生活単元学習、作業学習の授業発表を行う
平成15年度		公開研究発表会で、自立活動等の授業発表を行うとともに、自立活動に関する事例発表を行う
平成16年度		公開研究発表会で、自立活動、美術、保健体育等の授業発表を行うとともに、自立活動、美術、保健体育の事例発表を行う
平成17年度		公開研究発表会で、日常生活の指導、自立活動、保健体育等の授業発表を行うとともに、日常生活の指導、自立活動、保健体育の事例発表を行う
平成18年度		公開研究発表会で、音楽、数学、生活単元学習等の授業発表を行うとともに、音楽、数学（中学部、高等部）の事例発表を行う
平成19年度		公開研究発表会で、遊びの指導、生活単元学習、作業学習の授業発表を行うとともに、遊びの指導、生活単元学習、作業学習の事例発表を行う
平成20年度		公開研究発表会で、算数、遊びの指導、国語、作業学習の授業発表を行うとともに、算数、国語、作業学習の事例発表を行う
平成21年度	第六次研究の まとめ個人研究集録	実践事例発表会で、遊びの指導、生活単元学習、作業学習の授業発表を行うとともに、平成20年度の個人研究について各教諭がポスター発表を行う
平成22年度		九州地区特別支援教育研究会大分大会で、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習の授業発表を行う
平成23年度		研究事例発表会で、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習の授業発表を行うとともに、事例のポスター発表を行う
平成24年度		公開研究発表会で、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習の授業発表を行うとともに、指導内容の改善とその実践について発表を行う
平成25年度	第七次研究の まとめ	公開研究発表会で、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習の授業発表を行うとともに、指導内容の改善とその実践について発表を行う
平成26年度		授業研究会で、算数、数学、作業学習の授業発表を行うとともに、「意欲的に学ぶ姿」の考察について発表を行う
平成27年度		教育講演会で、「活動に意欲的に取り組むための工夫」を取り入れた国語、算数、数学、作業学習の授業発表を行う
平成28年度		公開研究協議会で、「活動に意欲的に取り組むための工夫」を取り入れた国語、算数・数学、作業学習の授業発表を行うとともに、国語、算数・数学の授業づくりについての発表を行う

Ⅳ 進路指導

1. 進路指導の基本方針

- 児童生徒が、自分の能力や適性を把握し、自分の将来に希望を持ち、主体的に進路を選択決定するための指導を行う。【進路指導】
- 関係諸機関と連携を図りながら就職のための指導や、移行支援を実施する。また、一人ひとりに応じた進路指導が行えるよう、幅広く進路先の開拓を図る。【他機関との連携及び各事業所等の開拓】
- 進路選択に活用できるように、進路先等の情報収集を行い、必要な情報を職員や保護者に提供するとともに、保護者や職員、社会への啓発活動を行う。【情報の収集及び啓発・研修】
- 卒業生へ追支援を行い、事業所や施設等で自立し向上していくための相談や援助を行う。【追支援】

2. 職場開拓について

障がい者就業・生活支援センター、ハローワーク、大分障害者職業センター、大分県商工労働部、福祉施設などの協力を得て、生徒の能力、適性、希望などに合致する職場の開拓に努める。

3. 産業現場等における実習、職場体験の実施状況

(1) 産業現場等における実習

高等部在学中の3年間に6回実施することを基本とするが、実施回数、形態や期間は個に応じて検討する。（中学部は、1週間の校内実習を実施する）

学年	高1		高2		高3	
期	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期	VI 期
時 期 間	6 月 (1 週間)	10月 (2 週間)	6 月 (2 週間)	10月 (2 週間)	6 月 (2 週間)	10月 (2 週間)
形 態	集団	個人	個人	個人	個人	個人

各期のねらい

第I期

- ・働くことの意義を理解し、将来社会人になるという自覚を持つ。

第II～IV期

- ・一人ひとりの生徒に適する職種、職場の発見に努め、卒業時の進路の方向性を探る。

第V～VI期

- ・卒業時の進路を想定した会社や施設での実習を通して、進路選定の手がかりとする。

共通

- ・学校生活で学んだことを確かめ、問題点や課題に気づく。

(2) 職場見学・職場体験

卒業生の就職先または高等部生徒の実習先を見学したり、一般企業で半日の就業体験を行ったりする。

4. 進路状況

(～平成27年度)

	事業所	福祉施設	進学	その他	計
男	85	94	2	15	196
女	42	82	0	11	135
計	127	176	2	26	331

(平成28年度)

	一般就労		福祉的就労						進学	在宅	計
	企業就労	継続支援A型	就労移行	自立生活訓練	継続支援B型	生活介護	地域活動センター	その他			
男	1		1	0	1	1	0	0	0	0	4
女	0		0	0	2	0	0	0	0	0	2
計	1		1	0	3	1	0	0	0	0	6

5. キャリア教育全体計画

キャリア教育の目的 ライフステージや発達段階に応じた課題や役割を果たすことで、具体的な「生きる力」を身につけ、社会参加と自立をめざす	学校教育目標とめざす子ども像 【学校教育目標】 個人の尊厳を重んじ、児童生徒一人一人の心身の発達に応じて、小学部、中学部並びに高等部の各課程を通して、調和のある一貫した教育を行い、自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、身近生活の確立をはじめ、集団生活、社会生活、職業生活への適応性を高め、自立的、主体的な生活ができる人間の育成をめざす 【めざす子ども像】 ・明るく 元氣なやさしい子ども ・自分のことは 自分でする子ども ・人と交わり 仲よくする子ども ・力いっぱい 最後までがんばる子ども	教育関係法規 日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 本人保護者の願い 産業現場の願い 地域社会の願い
キャリア教育の内容 ・勤労観・職業観の育成 ・社会生活を快適に営むために必要な知識や技能の育成 ・自分らしい主体的な活動の育成	学部目標 【小学部】 ※自分の身のまわりのことを自分でする子ども ※いろいろな遊びや行事に喜んで参加し、元気に活動する子ども ※日常生活に必要なことばやかずなどの基礎的な知識や技能を身につける子ども ※手伝いや身のまわりの仕事などを進んでする子ども 【中学部】 ※身のまわりのいろいろなことを、きちんと自分からする生徒 ※集団の中に進んで参加し、自分の役割に応じて活動する生徒 ※社会生活に必要な基礎的な知識や技能を身につけ、生活に生かす生徒 ※仕事の大切さや楽しさを知り、進んで働く生徒 【高等部】 ※自分の生活にかかわることに、時や場などに応じて進んで取り組む生徒 ※集団の中で自分や友達役割を知って、力を合わせて活動する生徒 ※社会生活に必要な能力を高め、生活を豊かにする生徒 ※働くことに喜びをもち、仕事を最後までやりぬく生徒	
進路指導部の方針 児童生徒が自分の能力・適性を把握し、自分の将来に希望を持ち、主体的に進路を選択・決定するための指導を行う 主な取り組み 進路に関する学習、職場開拓、実習先開拓、追支援、進路面談、支援会議	キャリア 学部方針 【小学部】 日常生活に必要な知識や技能を身につけるとともに、体験的な活動を通して、自主的・主体的に取り組もうとする 【中学部】 「働く」体験を通して、やりがいや充分感を味わうとともに、社会生活や職業生活に対する興味関心を深め、集団におけるよりよい振る舞い方を身につける 【高等部】 現場実習や作業学習を通して、卒業後の職業生活に必要な知識や技能態度を身につけるとともに、職業への理解を深め、よりよい進路選択を行う	

各段階のキャリア発達目標

基礎的・汎用的能力	具体的な要素	小学部	中学部	高等部
人間関係形成・社会形成能力	・他者の個性を理解する力 ・他者働きかける力 ・コミュニケーション・スキル ・チームワーク ・リーダーシップ	・人とかかわり ・大人や友達とのやりとりや集団参加 ・日常生活に必要な意思表現 ・日常生活に必要な簡単なあいさつや身だしなみ	・集団における役割理解と協力 ・社会生活に必要な意思表現 ・場におけるあいさつや振る舞い、身だしなみ ・社会の仕組みやルールの理解	・集団の一員としての役割遂行 ・必要に応じた支援要求 ・TPOに応じた言動 ・積極的な社会参加
自己理解・自己管理能力	・自己の役割の理解 ・前向きに考える力 ・自己の動機付け ・忍耐力 ・ストレスマネジメント	・当番や役割の理解と実行 ・自他の役割の理解 ・基本的生活習慣の確立 ・自分の好きなことや活動の選択	・肯定的な自己評価と他者理解 ・個性や興味関心に基づく、よりよい選択 ・目標実現への主体的な取り組み ・様々な職業の体験的な理解	・職業と自己理解、個性の理解 ・社会生活で果たすべき役割の理解と実行 ・社会の様々なサービスに関する理解と実際の生活での活用 ・職業生活を遂行するのに必要な習慣形成 ・自分の感情を律する力
課題対応能力	・情報の理解・選択・処理 ・本質の理解 ・原因の追究 ・課題発見 ・計画立案 ・実行力 ・評価・改善	・複数の選択肢の中から選ぶ力 ・教師と一緒に、一人で課題に取り組む力 ・わからないことを問いたり、わかったことを伝えたりする力 ・目標への意識と意欲 ・取り組んだ活動の振り返り	・生活上必要な知識の収集 ・様々な活動への自発的な取り組み ・目標設定と達成の取り組み ・活動の振り返りと生かそうとする努力	・職業生活に必要な事柄の情報収集と活用 ・課題解決のための選択肢の活用 ・産業現場等における実習や作業学習における客観的かつ肯定的な自己評価 ・将来設計や進路希望の実現を目指した目標設定と解決策への取り組み
キャリアプランニング能力	・学ぶこと・働くことの意義や役割の理解 ・多様性の理解 ・将来設計 ・選択 ・行動・改善	・身近な仕事や働く人への関心 ・公共交通機関の利用の仕方 ・金銭の大切さの理解 ・身近な働く人や仕事へのあこがれ ・簡単な計画と実行	・様々な職業の体験的な理解 ・将来の夢や職業へのあこがれ ・生活に必要な公共交通機関の利用 ・消費生活に関する基本的な事項の理解 ・目標実現への主体的な計画	・働く意義の実感 ・労働と報酬の関係の理解と計画的な消費 ・産業現場等における実習などに基づく進路選択 ・働く生活への期待 ・将来設計に結びつく進路計画

キャリア能力発達の主な指導目標

	領域・教科を合わせた指導			教科別の指導		領域別の指導
	日常生活の指導	遊びの指導(作業学習)	生活単元学習			
小学部	・基本的生活習慣について基礎的な知識・技能を身につける ・日常生活に必要な簡単な決まりを守って行動する ・簡単な手伝いをする	・好きな遊びを持ち進んで遊ぶことで、様々な身体活動、友だちやいろいろな物との関わり、意欲などを育てる ・簡単な決まりを守って遊ぶ	・集団行動を身につける ・身近な職業やきまりや金銭の扱いなどを学ぶ ・簡単な目標を立てたり選択したりして、自分の役割を果たしたり、達成する喜びを味わう	国語 算数 音楽 図工 体育	自分の意思や感情を表現する 数に関心を持ち、お金や時計の使い方を理解する 興味関心を持ち、美しさや楽しさを味わう 興味関心を持ち、美しさや楽しさを味わう 健康の保持増進、楽しく明るい生活を営む態度を育てる	・身のまわりのいろいろなことをきちんとして、落ち着いて取り組む ・社会生活に必要なコミュニケーションを身につける ・集団に参加して、自分の役割に応じて活動する
中学部	・場の状況や相手を意識した基本行動を身につける ・時間の管理など将来の職業生活に向けた習慣を身につける	・職業に就くためには、基礎的な知識や技能が必要であることを理解する ・働くことに関心を持ち、働く喜びを持ちながら職業生活に向けてよりよい習慣を身につける ・職場見学等を通して、様々な職業があることを知り、職業について夢やあこがれを持つ	・集団生活・社会生活に必要な「金銭」や「応対」などの知識や技能を養う ・社会見学等を通して、将来の生活を見越した広い社会への関心を高め、職業についての夢やあこがれを持つ ・金銭、時刻等実務面に関する理解を深め、計画的な運用を図る能力と態度を育てる ・自分の興味関心に基づいてよりよい選択をしたり、活動を振り返って次の活動に生かそうとしたりする	国語 数学 音楽 美術 体育 職家	集団の中で、自分の思いや感情を適切に伝え合う 金銭・実務面に関する理解を深め、扱う能力と態度を育てる 生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる 意思を表現する喜びを味わい、豊かな情操を養う 健康の保持増進と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる 自分の果たす役割を理解し、継続的に取り組む	・活動に落ち着いて取り組む ・社会生活に必要なコミュニケーションを身につける ・集団に参加して、自分の役割に応じて活動する ・集団活動における目的を共有し、役割を理解して、協力して成し遂げる ・集団活動に主体的に参加し、意思決定をする
高等部	・教師や友達との約束や集団生活に必要な行動を自分で判断しながら、自立的に行動する ・時間の管理など将来の職業生活に向けた習慣を身につける	・産業現場等での実習を通して、自己の適性を知り、就労に向けて課題意識を持ち、目標に向けて取り組む ・働く意義について理解を深め、自分なりの価値観や勤労観を持つ	・法や制度、消費生活、情報収集の方法など、卒業後の生活に必要な知識や技能・態度を身につける ・卒業後の生活に期待を持ちながら、簡単な目標を立てたり選択したりして、自分の役割を果たしたり、達成する喜びを味わう	音楽 美術 保体	生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる 生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる 心身の調和的発達を図り明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる	・社会自立できるように言語力・社会常識を身につける ・自己理解を深める ・自己の生き方や進路に課題を持ち、課題解決について主体的に取り組む

V 教育実習の概要

1. 教育実習の意義

教育実習は、将来、教師として子どもたちの教育にたずさわろうとする者が、これまでに大学で学んできたことを実際指導の場で確かめたり、学校現場における様々な問題の解決の方向を探したりするなかで、教師として必要な知識、技能及び態度を習得するために行うものである。

2. 教育実習の目的

上述のような意義をもつ教育実習は、次のような目的で行う。

- 学校の特色や各学部の経営方針、指導の形態を見聞きしたり、校舎内外の施設及び施設等を利用したりして、現場の運営や環境、施設についての理解を深める。
- 観察や実践をとおして、障がいのある児童生徒や学級経営に対する理解を深め、特別支援教育における教育実践の手がかりをつかむ。
- 児童生徒の実態に即した「めあて」を設定したり、「めあて」にせまる方法を工夫したりして授業に臨み、授業反省をとおして今後の実践に役立てるとともに、授業研究の方法を身につける。
- 終日の学級経営を行うことなど、実習全体をとおして、教師としての基本的な生活態度及び主体的に取り組む姿勢の育成を図る。

3. 教育実習の種類と期間

学校教育課程特別支援教育コースの 3年生	教育実習A事前指導 教育実習A	1週間 5週間	(7/3～7/7) (9/2～10/11)
学校教育課程特別支援教育コース以外の 4年生	副免実習	3週間	(5/22～6/9) (11/21～12/11)

(教育福祉科学部学校教育課程4年生 介護等体験 2日間 年4回)

(教育学部学校教育教員養成課程1年生 参加体験 年4回)

4. 実習の主な内容

ア 実地指導講話

教育実習生が実際の実習を始めるにあたって、教育実践上の基礎的な知識を与え、実習の効果を高めるために行う。

イ 実践授業

教育実習生が実際に児童生徒に接しながら指導を試みるため、教育実習Aでは2時間以上、副免実習では1時間以上、指導案に基づく授業を行う。

ウ 実習日誌

日々の実習の反省や記録をまとめることにより、児童生徒の理解を深めるとともに、実習の充実を図る。

Ⅵ 教育相談及び入学案内

1 教育相談

障がいのある幼児児童生徒の就学や指導上の諸問題について、本人及びその保護者や関係者からの相談に応じます。

(1) 内容

- ① 保護者や関係者からの聴き取りで対象児の就学や教育に関する具体的な問題を把握する。
- ② 本人への面接及び観察などをおして発達や行動の特性を把握する。
- ③ 発達検査や社会生活能力検査などを行い、発達の程度を把握する。
以上のことをもとに、本人の発達上の課題について、個別に教育的支援を行う。

(2) 方法

- ① 教育相談を希望される方は、電話等で直接本校に申し込み、相談の日時を決める。
- ② 保護者（関係者を含む）は本人同伴のうえ来校する。
- ③ 相談は、本校コーディネーターが対応。

(3) その他

- ① 本校への入学・転入学については所轄の市町村教委への相談となる。
- ② 相談は無料
- ③ 相談の秘密は厳守
- ④ 教育相談の申し込み先
・大分大学教育学部附属特別支援学校 電話 097-543-8317（教頭）まで

2. 入学案内（平成30年度）

(1) 募集予定人員 ① 小学部 第1学年3人程度

② 中学部 第1学年6人程度(本校以外から3人程度)

③ 高等部 第1学年8人程度(本校以外から2人程度)

(2) 応募資格 ① 小学部 平成30年度特別支援学校小学部、または小学校に就学予定の者

② 中学部 平成30年度特別支援学校中学部、または中学校に就学予定の者

③ 高等部 平成29年度特別支援学校中学部、及び中学校を卒業見込みの者、またはそれ以前に卒業した者

上記の者で、

- ・知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度の者及びその程度には達しない者のうち、社会生活への適応が著しく困難な者。
- ・一人または保護者の付添いで通学が安全にできるとともに、階段の昇降や移動が自力のできる者。

※出願手続き、選考等、詳しい内容については、10月初旬に募集要項を配布する予定です。

VII その他

1. 学 校 評 議 員（五十音別）

飯 倉 三佳子
井 上 尚 人
木 村 吉 男
小 玉 洋 三
濱 内 美智子

2. 歴代校長・副校長

校 長

尾 渡 達 雄	S 48.4	～	51.3
河 合 伊 六	S 51.1	～	54.3
粟 高 美	S 54.4	～	57.3
小 林 晶	S 57.4	～	60.3
東 正	S 60.4	～	63.3
種 友 明	S 63.4	～	H 3.3
中 塚 綾 子	H 3.4	～	6.3
大 山 三 樹	H 6.4	～	9.3
軸 丸 勇 士	H 9.4	～	12.3
森 長 徳	H 12.4	～	15.3
田 中 新 正	H 15.4	～	18.3
田 中 星 治	H 18.4	～	21.3
古 賀 精 治	H 21.4	～	24.3
高 浜 秀 樹	H 24.4	～	27.3
野 田 幸 代	H 27.4	～	29.3
児 玉 修 一	H 29.4	～	

副 校 長

三河尻 修 二	S 48.4	～	60.3
盛 岡 栄 作	S 60.4	～	63.3
板 井 昭 六	S 63.4	～	H 2.3
大 木 栄 治	H 2.4	～	3.3
河 野 充 寛	H 3.4	～	5.3
佐 藤 賢之助	H 5.4	～	8.3
廣 田 壽 相	H 8.4	～	10.3
山 崎 登代子	H 10.4	～	14.3
横 山 賢	H 14.4	～	20.3
石 谷 千 年	H 20.4	～	21.3
安 東 康二郎	H 21.4	～	24.3
青 座 真貴子	H 24.4	～	27.3

H27.3で副校長職は廃止

3. P T A役員名簿

役 職 名	氏 名
会 長	小 玉 洋 三
副会長（小学部）	陸 丸 美 加
”（中学部）	宇 野 洋 子
”（高等部）	甲 斐 啓 子
”（学 校）	児 玉 修 一
会 計	井 上 愛 子
	小 西 利 治
会 計 監 査 委 員	久 野 千 砂
	日 浦 真 佐 子
書 記	澤 藤 達 也

4. P T Aの組織

◎全国国立大学附属学校園P T A連合会（全附連）

└九州地区国立大学附属学校園P T A連合会（九附連）

└大分大学教育学部附属四校園P T A連絡協議会

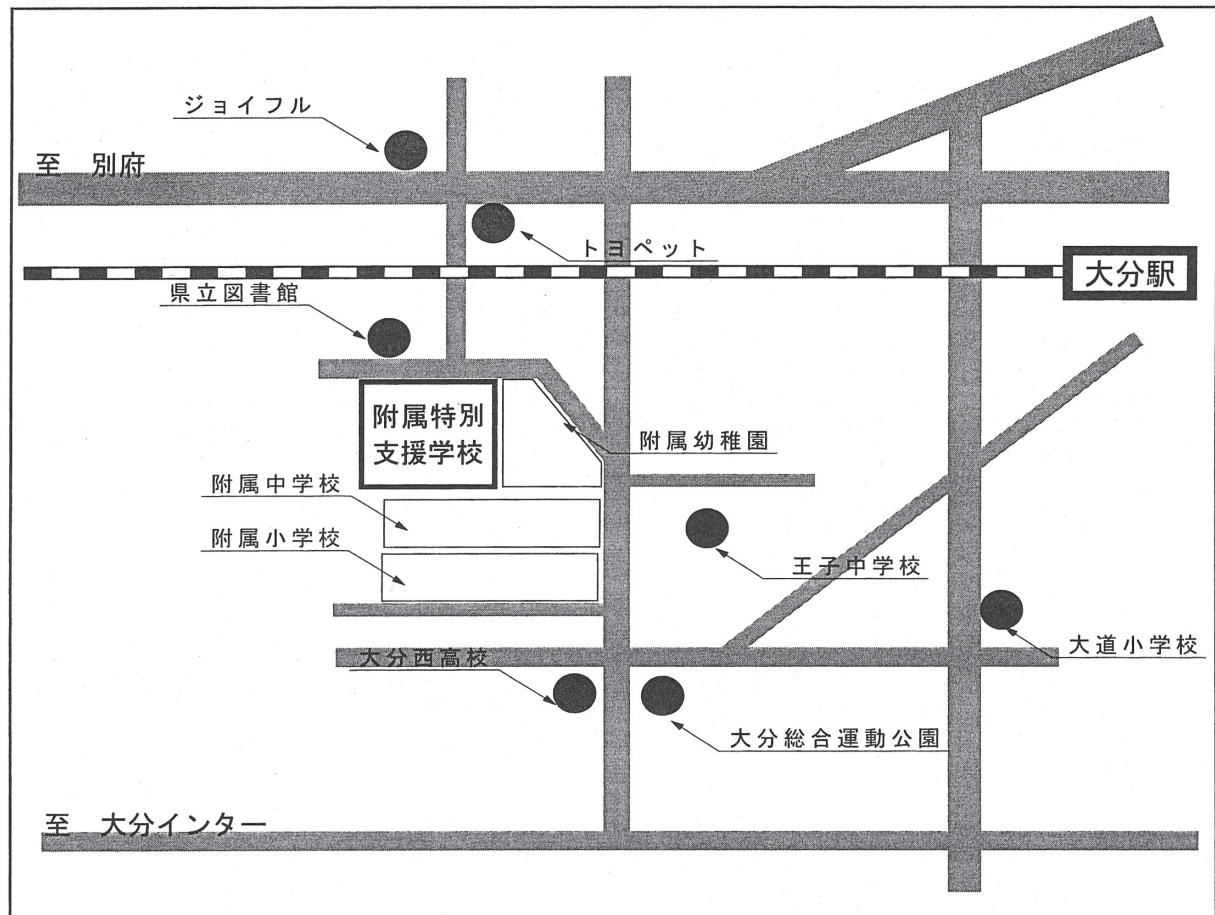
◎全国特別支援学校知的障害教育校P T A連合会（全知P連）

└九州地区特別支援学校知的障害教育校P T A連合会（九知P連）

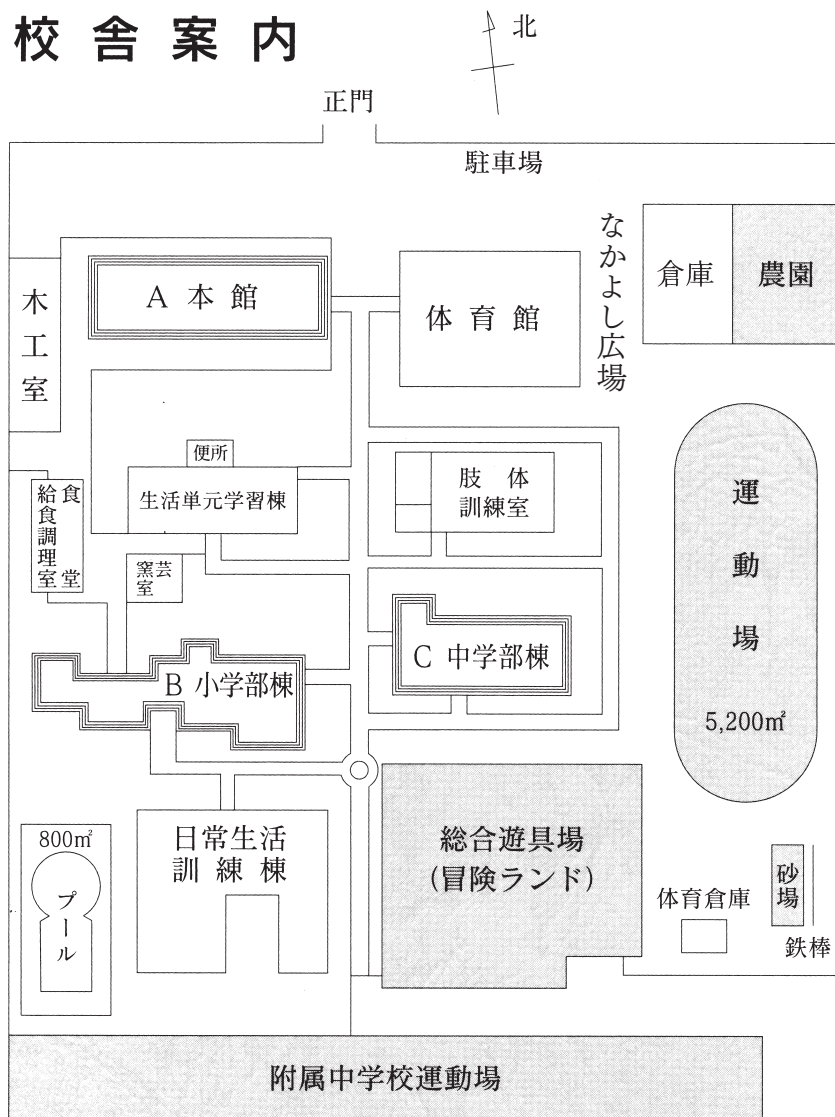
└大分県特別支援学校知的障がい教育校P T A連合会（県知P連）

◎西部地区P T A協議会

学 校 案 内 図



校舎案内



【施設の概要】 ※単位㎡

校地面積	13,423
校舎面積	3,767
・小学部棟	399
・中学部棟	290
・本館	1,578
・体育館	364
・肢体訓練室	266
・木工室	97
・生活単元学習棟	213
・給食棟	98
・日常生活訓練棟	462
・総合遊具場	500
・その他	429

【主な交通機関】

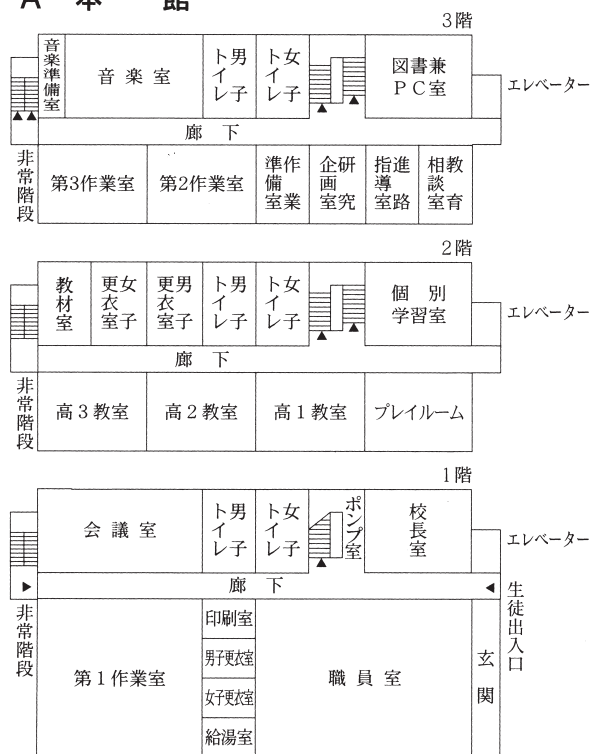
○バス

大分駅から、大分交通にて
「県立図書館」行に乗車、附属特別
支援学校前下車。約15分

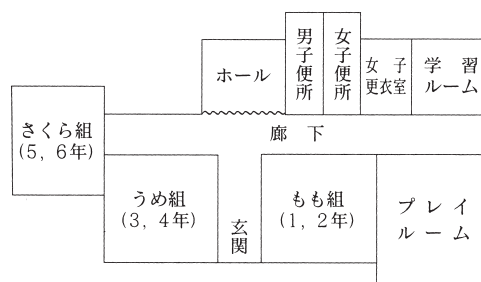
○タクシー

大分駅から約5分

A 本館



B 小学部棟



C 中学部棟

